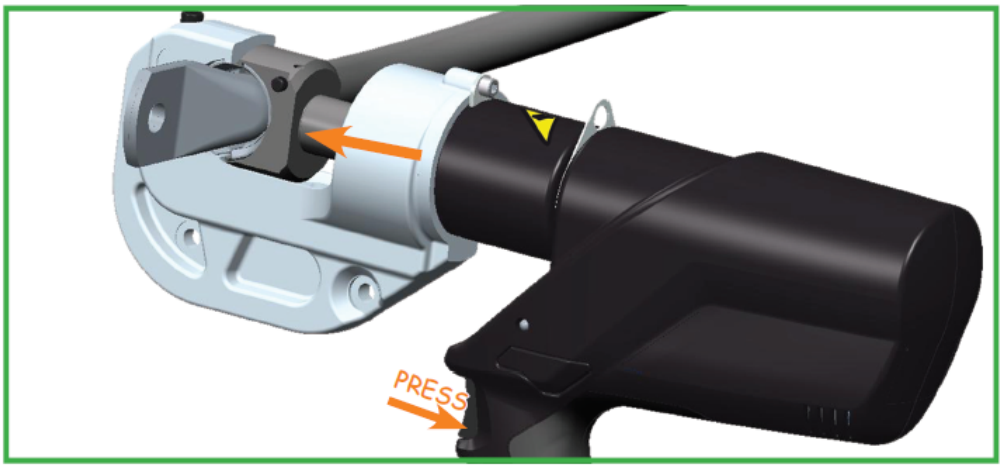
施工手順

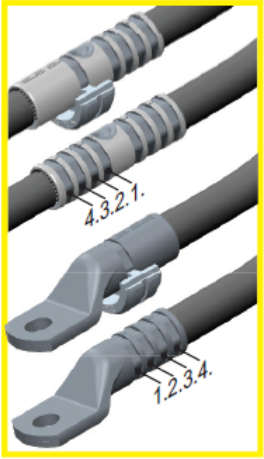
© Panduit Corp. 2021

アルミニウム圧縮端子の取り付け　ガイドライン

参照）バレル：膨らんだ胴体部分、クリンプ：圧着（圧縮）、スプライス：重ね繋ぎ

1) ご使用になる電線サイズに適した、アルミ圧縮端子を選択します。 適切な導体サイズのご確認はバレル上のカラーガイドでも識別できます。 **注）**アルミニウム電線に銅製の端子を使用しないでください。
2) バレル上のカラーガイドと同じ色のダイスを選択します。例)100 ㎟であればカラーガイドは白
3) ツールチャート（表１）に示されているおおよその長さに電線の被覆を取り除きます。電線導体にキズを付けないようにご注意ください。
4) 被覆を取り除いた導体にワイヤーブラシをかけ、酸化被膜を除去します。
5) ブラッシングした導体を電線が止まるまで端子に挿入し、導体部にコンパウンドが完全に塗布されていることを確認する。
   ＊端子内部でコンパウンドが固まっており、挿入しにくい場合もございます。電線の通り道を塞いでいるコンパウンドの中央部分に通り道（空洞）を作って頂くとスムーズに挿入が出来るようになります。
6) ツールチャート（表１）に示されている取り付け工具を使用して、バレル上にある２本の線のクリンプゾーン内で等間隔に圧縮します。圧縮後、余分なコンパウンドを取り除きます。
   注）端子は、ねじ止め穴のある側（舌部）からバレルを圧縮、スプライス端子は中央に近い方から圧縮します。
   ツールチャート（表１）に表示される必要なクリンプの数を圧縮して下さい。
   注）万が一のバリやキズの発生を防ぐ為、端子への圧縮前に一度、甘噛みを行い端子とダイスの咬み合わせが適正（平行）かご確認後、最終圧縮作業を行う事をお薦め致します。





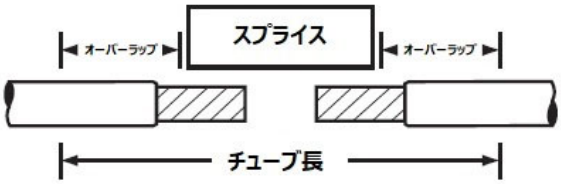
7) ケーブル被覆と端子の隙間の防水処理を行います。

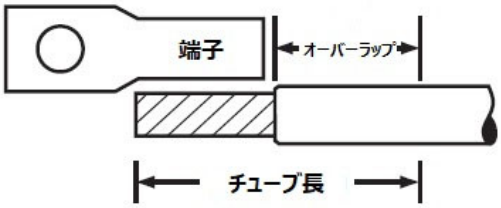
熱収縮チューブの取り付け

A) 熱収縮材料の情報、チューブのサイズ、定格電圧、および収縮温度については、Panduit のカタログまたは www.panduit.com を参照してください。

B) 必要に応じて電線の絶縁部をカバーできる長さにチューブをカットします。電線の絶縁部に少なくとも 50mm のオーバーラップを推奨します。

C) 標準のトーチまたはヒートガンで収縮します。スプライスはチューブの中心から端に向かって、端子はコネクタの圧着部分から電線の絶縁部に向かって収縮させます。チューブの端から接着剤が流れることで、収縮が完了したことを示します。





製品番号	収縮前内径	収縮後内径	長さ	梱包数	対象ケーブル
HST0.8-12-5Y	19.1	5.6	304	5	60 ㎟
HST1.1-12-5Y	27.9	9.5	304	5	100～200 ㎟
HST1.5-12-5Y	38.1	12.7	304	5	250～325 ㎟
HST2.0-12-2Y	50.8	16.9	304	2	400 ㎟

自己融着テープ

端末の防水処理には StrongHold シリーズの自己融着テープを推奨します。テープは、エチレンプロピレンゴムで、端子やスプライスを絶縁するための自己融着型ライナーレスのテープです。素早く融合し、ボイドのない、電気的に安定した蓄積をもたらし、防水に理想的です。 ASTM D-4388、HH-I-553C /グレード A、MIL-I3825B 規格に適合。 卓越したストレッチ機能により、様々な複雑な形状や輪郭に適合します。全てのケーブル絶縁と互換性があり、接合部からの適切な熱解散を可能にする優れた熱伝導率を持つように特別に配合されております。

＜使用用途＞

- 最大 69Kv の電源ケーブルの端子およびスプライスの防水絶縁
- 35Kv までの電力ケーブルにストレスコーンと終端のジャケットを構築
- バスコンポーネントの防水、絶縁、保護
- 耐湿性、耐 UV 性　あり

製品名	製品番号	材質	色	ロールサイズ	電圧	使用温度範囲	耐湿性	耐 UV 性	梱包数
自己融着テープ ライナーあり	ST23-075-30BK	エチレンプロピレンゴム	黒	19mmx0.76mm x9.1m	600V ~69KV	Max 90℃	○	○	20
自己融着テープ ライナー無	ST2242-075-15BK			19mmx0.76mm x4.6m			○	○	35
	ST2242-150-15BK			25mmx0.76mm x4.6m			○	○	35
絶縁テープ	ST43-075-66BK	ポリ塩化ビニル		19mmx0.18mm x20m	～600V	Max 105℃	○	○	20

製品の詳細はこちらをご覧ください
https://www.panduit.co.jp/solution/stronghold/

STEP1	STEP2
端子のバレル上にあるカラーガイドで使用する電線と合う端子を選択します。	端子のカラーガイドと同じカラーガイドのあるダイスを選択します。
STEP 3	STEP4
被覆を取り除いた導体にワイヤーブラシをかけ酸化膜を除去します。 ＊導体の向きに合わせ、3~4 回ブラッシングしてください。	ブラッシングした電線を、導体が止まるまで奥に端子に挿入します。 ツールチャート(表 1)の電線ストリップ長を参照

STEP 5	STEP6
一度引き抜き抜き、再挿入する事により コンパウンドが均一に塗布され、 挿入もよりスムーズになります。 ＊端子内部のコンパウンドが酸化被膜を破り接触抵抗を下げる役目をします。また、水分を侵入させないよう腐食を防止します。	導体がバレルの突き当りまで挿入された事を確認後、 圧縮作業を進めます。 ツールチャート(表 1)の電線ストリップ長を参照。
STEP7	STEP8
ツールチャート（表１）に表示されている、必要なクリンプの数を圧縮してください。 ＊端子はねじ止めの穴がある側から圧縮します。	ダイス番号が刻印され施工後も確認する事が容易にできます。

STEP9	STEP10
ケーブル被覆と端子の隙間の防水処理を行います。 自己融着テープを引き伸ばしながら巻き付けます。 必要とされる厚さになるまで、重ね巻きをします。	取り付け時の上下の向きに注意して、必要と される厚さになるまで、重ね巻きをします。

ツールチャート（表１）

型番	電線サイズ（mm²）	電線剥きしろ（mm）	CT-920 CT-2931/STBT		CT-2940/STBT	
			ダイス		ダイス	
			型番	番号	型番	色/番号
LAAM60	60	40～45	CD-920-4/0 (2)**	P54	---	---
LAAM100	100	50～55	CD-920-300 (2)	P66	---	---
LAAM150	150	65～70	CD-920-400 (2)	P76	---	---
LAAM200	200	75～80	CD-920-600 (4)	P94	---	---
LAAM250	250	90～95	CD-920-500A (4)	P99	---	---
LAAM325	325	95～100	CD-920-750 (4)	P106	CD-920-750* (4)**	P106
LAAM400	400	100～105	---	---	CD-940-750A (4)	P125

* CT-2940 工具でも、CD-940-DA ダイスアダプタを使用すると CD-920 タイプのダイスをご使用頂けます。

**(2) (4)圧縮回数

お問い合わせ先

パンドウイットコーポレーション日本支社

email : jpn-toiawase@panduit.com